進路ジャーナル



青森県立森田養護学校
進路指導部１０月号
発行日　R８．１０．３０

６月に、中学部１学年は高等部の作業体験、２学年は事業所見学、３学年は高等部の集団実習に参加しました。今回は、その様子をお伝えします。

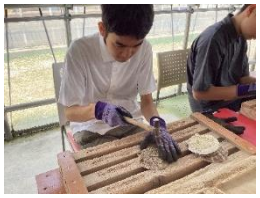
１学年（高等部の作業体験）






１学年は、農業・紙工班、ジョブトレーニング班、ニードルワーク班、わくわく WORK 班の体験をしました。農業・紙工班では、紙工作業として、パルプちぎりを体験しました。また、ジョブトレーニング班では、スマホスタンドの製作に挑戦しました。いつもと違う環境でしたが、先輩が優しく教えてくれたので、最後まで落ち着いて作業できました。

２学年（事業所見学）





２学年は、「夢の森ラッキー」と「ワークセンターのれそれ」へ行き、それぞれ見学と体験を行いました。「夢の森ラッキー」では、ほたて貝に穴を開けたり、卵を洗ったりする作業を体験しました。「ワークセンターのれそれ」では、収穫したサンチュの袋詰め作業をしました。普段の作業学習ではなかなか体験することのできない活動で、「商品を丁寧に扱うこと」や「指示をよく聞いて作業すること」の大切さに気付くことができました。

３学年（高等部の作業体験）





３学年は、高等部の集団実習に参加しました。午前中はつがる地球村の草取り、午後はフルーツキャップ折りをしました。外での草取りはとても疲れ、中学部の作業よりも大変でした。
さすが高等部の先輩だなと感じました。

進路学習報告会







報告会では、学年ごとに今回の実習で感じたことや、これからの作業学習に生かしていきたいことをまとめて発表しました。「長い時間、立って作業するのが疲れた。」「先輩の報告の仕方がかっこよかった。」など、色々と感じたことがあったようです。
今回の実習で感じたこと、学んだことをこれからの中学部での生活に生かしてくれると思います。
ご協力いただいた、高等部のみなさん、ありがとうございました。

就労選択支援について



「就労選択支援」が始まり、１年が経ちました。本校高等部の生徒も、今年度から順次「就労選択支援」を受けています。今月は、本校における「就労選択支援」の実施状況についてご紹介します。

「就労選択支援」は、本人が自分に合った就労先や働き方をよりよく選択できるよう、本人の希望や就労能力、適性などを把握しながら、進路選択を支援するサービスです。高等部在学中から利用することができ、自分の希望や適性について理解を深めながら卒業後の進路を考えることで、より本人に合った就労先や働き方の選択につながることが期待されます。

本校では、各学年の「福祉的就労を含め、就労を考えている生徒」全員を対象とし、下記のスケジュールで実施を予定しています。

	令和８年度		令和９年度		令和１０年度	令和１１年度
令和８年度高等部３年生	R8 前期					
令和８年度高等部２年生		R8 後期	R9 前期			
令和８年度高等部１年生			R9 前期	R9 後期		
令和９年度高等部１年生				R9 後期	R10 前期	
令和１０年度高等部１年生					R10 後期	R11 前期

表１　森田養護学校高等部　就労選択支援実施スケジュール（予定）



現在、高等部３年生のアセスメントがほぼ終了し、２年生がアセスメントの実施に向けて準備を進めています。生徒たちが、それぞれ一生懸命にアセスメントへ取り組んでいる様子が、多機関連携ケース会議での報告から伝わってきます。また、学校での進路に関する学習や産業現場等における実習、家庭で将来についての話し合いなどを通して、自分の進路について考え、一人一人が自分なりの思いや考えをもっていることも伝わってきます。

実施事業所によって取組内容に多少の違いはありますが、アセスメント期間中、生徒たちは自分自身と向き合い、「自分はどのようなことが得意なのか」「どのような働き方をしたいのか」など、自分のことや将来について支援者と一緒に考えています。そして、考えたことを言葉にしながら、自分自身についての理解を深めています。



学校では、アセスメントを通して得られた生徒自身の気付きやアセスメントの結果を今後の学習や進路指導に生かすとともに、生徒一人一人が自分らしい進路を選択し、卒業後も必要な支援を受けながら生活していけるよう、関係機関との連携にもつなげていきたいと考えています。